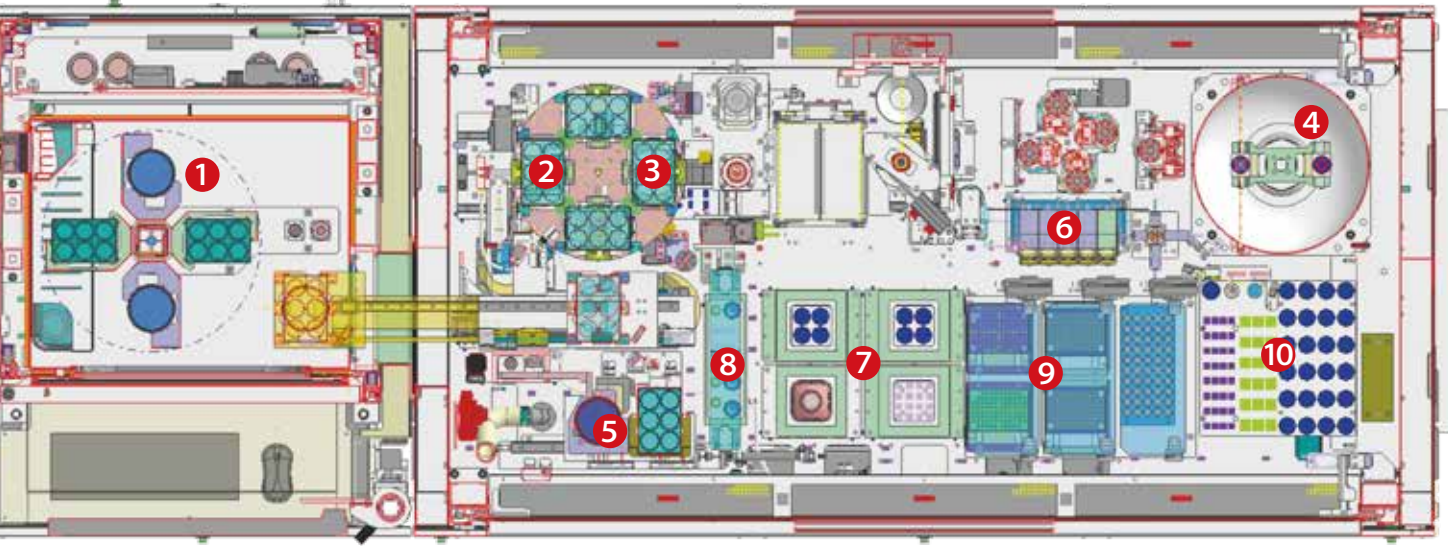


仕様

カテゴリ	項目	仕様
装置全体	寸法	本体：幅 3,420 mm × 奥行 1,000 mm × 高さ 1,950 mm
	重量	約 2,200 kg
	バイオハザード対応	安全キャビネットクラスⅡ相当（キャビネット内クリーン度 ISO クラス 5 クラス相当）
	騒音レベル	70 dB 以下（通常 60 - 65 dB）
	その他	瞬停対応：PC 用 UPS 搭載
装置本体	①インキュベータ	庫内温度：37℃、CO ₂ 濃度：5% ディッシュ専用ラック（Φ100／Φ60 ディッシュ × 18 枚）、 ウェルプレート専用ラック（ウェルプレート × 18 枚）の 2 種類から、計 4 ラック（計 72 枚）を選択可能
	②観察部	対物レンズ（4 倍）、位相差顕微鏡、オートフォーカス
	③揺動部	θ X、θ Y、2 軸揺動機構
	④遠心分離部	1 ～ 1,500 rpm（約 400 G）、処理数：15 mL または 50 mL チューブ 1 本
	⑤容器供給部	各容器向けマガジンラックに段積み状態で培養容器を設置。マガジンラックは同時に 2 個まで設置可能。 マガジンラックごとの装填可能数：Φ100 ディッシュ 7 枚、ウェルプレート 6 枚、セルカウントスライドアダプタ 12 枚
	⑥ウォーマ部	37℃保温、15 ml チューブ 1 本 + 50 ml チューブ 4 本収納
	⑦冷蔵ユニット部	保管温度：4±2℃ 数量：計 4 基（500 ml ボトル 1 本 × 1 基、50 ml チューブ 4 本 × 2 基、1.5 ml チューブ 16 本 × 1 基） オプションで、15 ml チューブ 9 本に変更可能
	⑧チューブ常温保管部	ロボット置きスペース：50 ml チューブ 1 本、15 ml チューブ 1 本、1.5 ml チューブ 6 本 手置きスペース：50 ml チューブ 2 本、15 ml チューブ 2 本、1.5 ml チューブ 3 本
	⑨チップ供給部	10 ml チップ 50 本 × 1 ラック、1 ml チップ 96 本 × 2 ラック、200 μl チップ 96 本 × 1 ラック、 20 μl チップ 96 本 × 1 ラック ※10 ml チップは当社製
	⑩チューブ供給部	50 ml チューブ 24 本、15 ml チューブ 18 本、1.5 ml チューブ 32 本
	直交ロボット	(a) 容器移載：YZ2 軸 (b) 培養作業実行：XYZ3 軸（ツール 5 種：チューブチャック、10 ml / 1 ml / 200 μl / 20 μl チップ用）
	制御部	産業用 PC + 専用制御盤
	その他	UV 灯 × 2 本搭載（動作完了後 15 分照射） セルカウント用治具、廃液タンク（容量 5 L）はオートクレーブ対応品
設置環境	電源	3 相 AC200V 60 A 1 系統
	CO ₂ 供給	0.1±0.05MPa、外径Φ6 エアチューブ
	空調環境	温度：23±3℃、相対湿度：35 - 70 %、粉塵・油ミスト・腐食性ガス等無きこと
	設置フロア	床面状態 ±25 mm、±2 mm / m、床面許容荷重 640 kg / m ²
	アンカー打込み	無し（装置本体には 6 組のキャスターおよびアジャスターフット付）
	その他	床振動、電気ノイズ源無きこと



⚠ 安全に関するご注意

- ご使用の際は、取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- カタログの記載商品を安全に使用して頂くために、取扱いについては稼働時、停止時に拘らず、設備付属の取扱説明書および設備の警告を十分確認した上で正しい作業を実施されますようお願い致します。

パナソニックグループは環境に配慮した製品づくりに取り組んでいます

詳しくは
こちら



Panasonic GREEN IMPACT

詳しくはホームページで ▶ <https://www.panasonic.com/jp/company/ppe/saibobaiyo.html>

お問い合わせは…

パナソニック プロダクションエンジニアリング株式会社

〒571-8502
大阪府門真市松葉町2-7
TEL：06-6905-4882



このカタログの記載内容は
2025年7月1日現在のものです。

Ver.2025.7.1

©Panasonic Production Engineering Co., Ltd.2025

●製品の色は印刷物ですので実際の色と若干異なる場合があります。●製品の定格およびデザインは改善等のため予約無く変更する場合があります。
●本製品は日本国内向けの仕様です。海外でのご使用の際は、販売店にご相談ください。●ご使用の際は、取扱説明書をよくお読みの上正しくお使いください。

Panasonic

2025

自動細胞培養・分化誘導装置
カタログ

モノづくりのチカラで
新しい医療の未来をつくる。



Shaping the Future of Medicine
with the Power of Manufacturing

All-in-one モデル

一連の細胞培養をすべてお任せ！

細胞培養の自動化・データ管理・高精度ピペッティング
・画像解析を一つのシステムで行い、効率と品質を向上

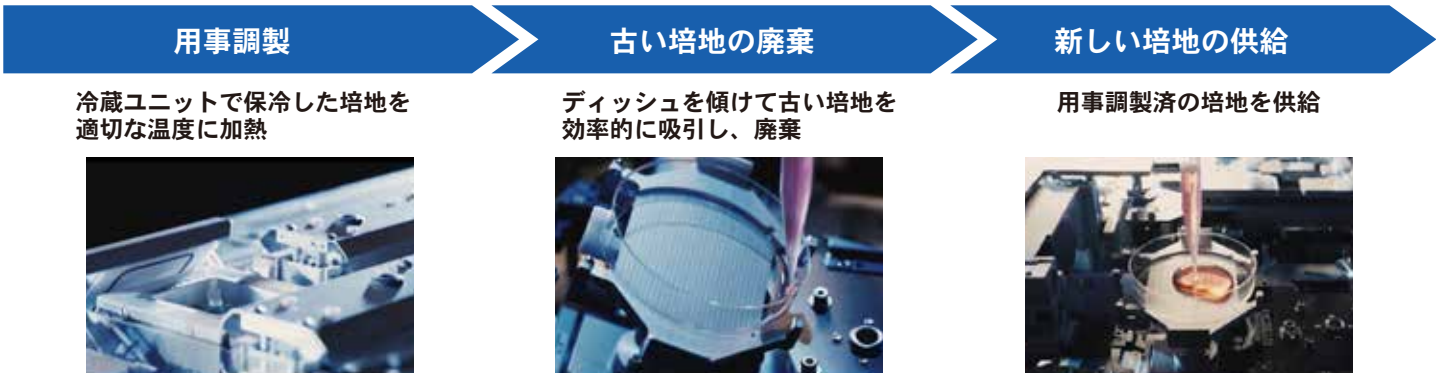
期待される用途

- ・分化誘導方法／関連試薬の開発
- ・前臨床データ取得・検証
- ・特定細胞の提供 など

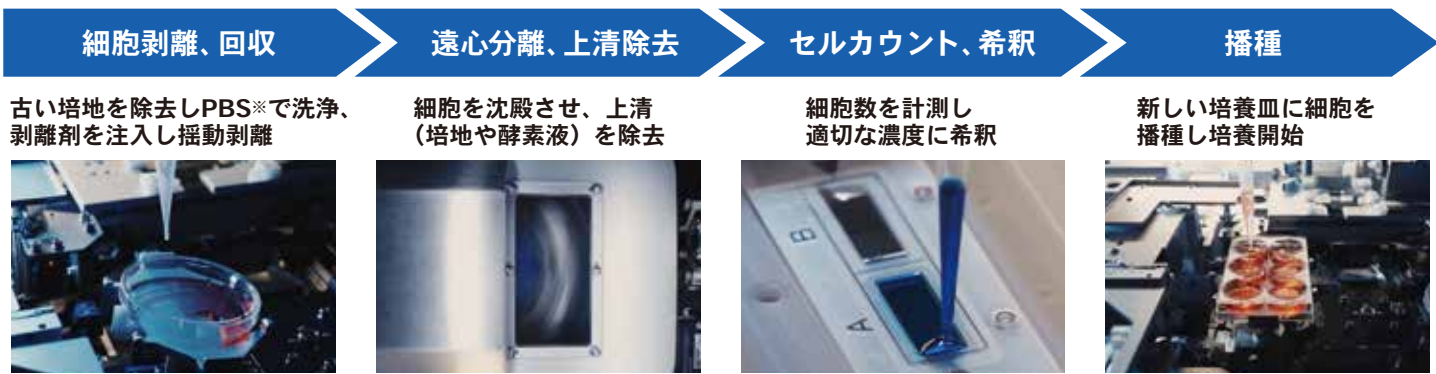
Application

自動化ソリューション

培地交換

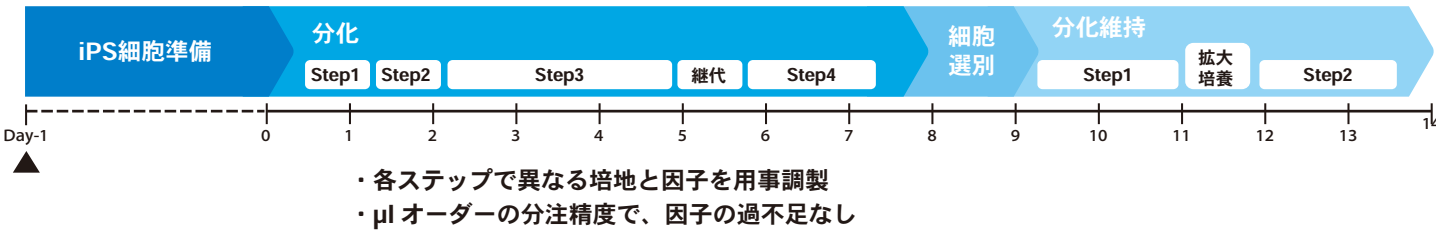


継代

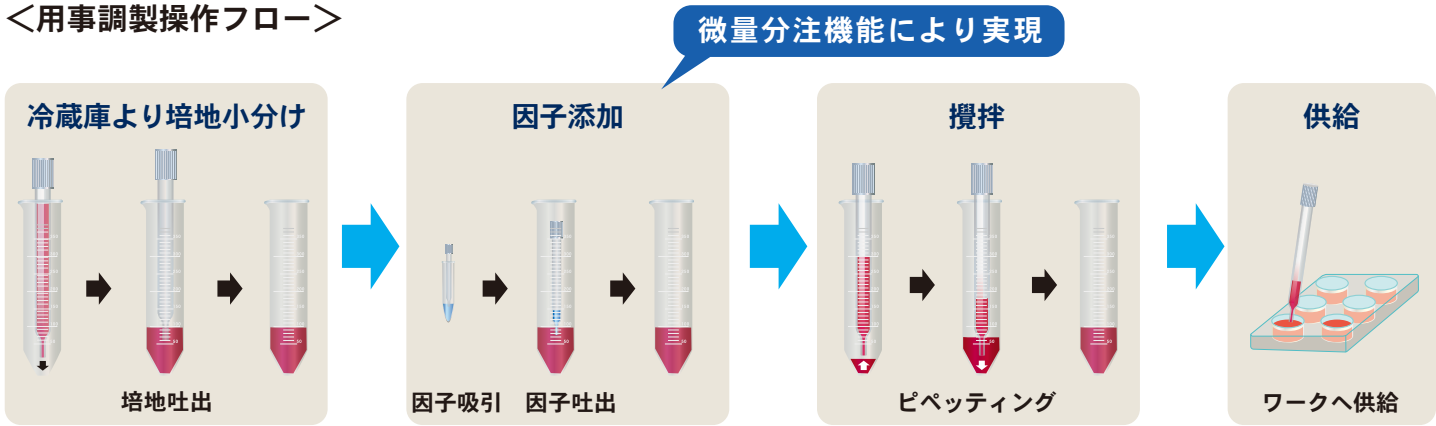


※リン酸緩衝生理食塩水

分化誘導 iPS 細胞から心筋細胞／肝細胞／神経前駆細胞／角化細胞などへの分化誘導の実績あり



<用事調製操作フロー>



データ管理、トレーサビリティ：

- ・培養容器を自動で ID 管理し、一連の実験の記録・データ解析を効率化
- ・データのトレーサビリティを確保し、お客様の GLP、GMP 対応をサポート
- ・ユーザ認証機能により、ユーザごとにプロトコルの秘匿性を担保

ユーザビリティ：

- ・一定機能ごとにソフトウェアをバック化
- ・ビジュアルプログラミングにより、プログラムに慣れていないユーザでも独自プロトコルを容易に実現可能
- ・通常サイズの貨物用エレベータに搭載できるコンパクト設計



安全稼働の徹底：

- ・カメラ・センサによる状態監視で、ヒューマンエラーに起因する誤動作を防止
- ・遠隔モニタリングにより、エラー発生時にメールでお知らせ

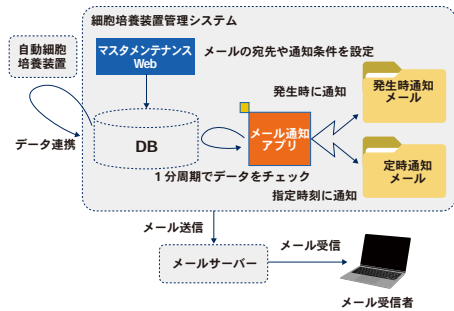
3 台の状態監視カメラで、消耗品の状態／向き違いなどを検知



在荷センサでインキュベータ内の消耗品の衝突を防止

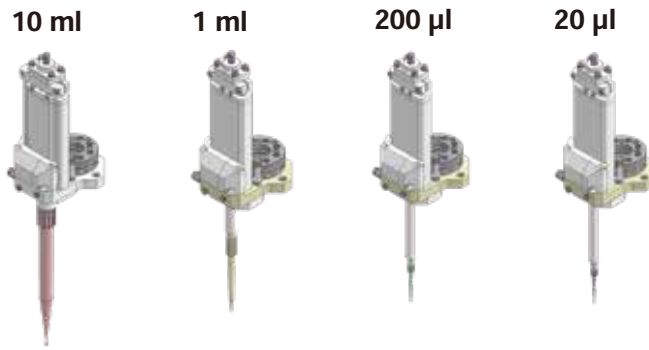


異常発生時にはメールでお知らせ

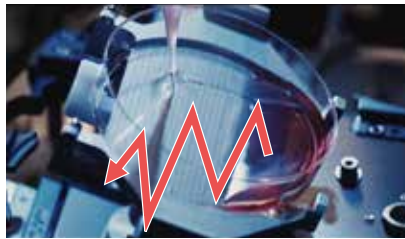


匠の手技を機能的に再現：

- ・4 種類の分注ツールで、ISO8655 を超える分注精度
- ・チップ先端キャリブレーションにより正確な液面追従動作が可能
- ・熟練研究者の手技をもとにした独自ピペッティング・揺動機能を実現



独自ピペッティング



細胞の観察：

- ・位相差カメラ画像に基づいて細胞の数を推定
- ・結果に基づき、指定濃度となる試薬の量を算出し、濃度調整を実行

位相差カメラ



セルカウント

